

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) 公衆衛生看護学演習・実習 (地域ケア実習)～ソーシャル キャピタルの醸成を目指して ～	共著	2021年1月	株式会社クオリティ ケア	公衆衛生看護学演習・実習の展開方法について、具体的な情報収集の方法や施策化への手法や評価方法について記述した。増補版では、実習である校区の施策化に向けた記述を加筆した。担当部分は、全体の記述と編集を担当した。眞崎直子、田中貴子、松原みゆき、森本千代子、林真二、福泉麻衣子(担当頁特定不可能)
2 (学術論文) 災害時要援護精神障害者へ の支援と必要量の推計に関する 研究(査読付き論文)	共著	2022年3月	聖マリア学院大学紀 要,13;15-22	大規模災害が多発する今日、災害時要援護精神障害者への支援の必要量の推計とその方法の検討が求められており、東日本大震災被災地のアクションリサーチとインタビュー調査により、災害時要援護精神障害者への支援の必要量を推計し、その方法を検討した。対象は、精神保健潜在ニーズに対応している保健師等医療、保健、福祉従事者10名である。方法は、インタビュー調査に基づく質的帰納的分析。得られたデータから災害時要援護精神障害者の支援枠組みを示した。期間は、平成23年1月～24年2月である。結果は、災害時要援護精神障害者への支援は、＜潜在的ニーズを持つ人へどのように関わるかのスキルを生かす＞、＜多様な場での生活相談＞を行い、＜NPO等民間支援団体と行政の連携体制構築＞を目指すことである。考察は、平時から災害時要援護精神障害者の潜在ニーズを既存統計で推計し、災害時に備えることが健康危機管理上重要であると示唆された。 共著者:眞崎直子,田中貴子,松原みゆき,竹島正,橋本修二。(共同研究につき、本人の担当部分抽出不可能)
3 (学術論文) 大刀洗町における保健事業と 介護予防一体的実施に関する 研究－庁内連携推進の試 みについて(査読付き論文)	共著	2024年3月	聖マリア学院大学紀 要,15;35-44	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施についての背景と内容を概観し、大刀洗町をモデルとした一体的実施事業における庁内連携を推進するための試みを実施した。大刀洗町の健康課題を国保データベースから抽出し、大刀洗町職員11名に対し、分析結果の「健康課題共有と解決策について」フォーカスグループインタビューを実施した。その内容を逐語録に起こし、データとし、類似性に着目し、カテゴリー化した。分析結果から「脳血管疾患・高血圧」の健康課題が明らかとなった。解決策としては「住民が地域や自分の健康状態を知ること」が大きな目標とし、「セルフチェックの仕組み」と「町の姿をデータで知る機会」を町全体に広げていくことが重要であると示唆された。 共著者:田中貴子,眞崎直子,鈴木寿則,森松薫,藤木弥生,渡邊淳子(共同研究につき、本人の担当部分抽出不可能)

所
属・
氏名

(看護学部 看護学科 氏名：真崎直子)

令和5年5月10日現在